

トヨタケ工業株式会社

所在地：愛知県豊田市 設立：1964年 資本金：3000万円 従業員数：70人
事業概要：内装用シートカバーの製造、自社ブランドの企画製造、TPSコンサル事業



代表取締役
横田 幸史朗

山間地域の強みを生かした新しい働き方で 域外からの人材獲得に成功

取組の内容

- 同社が位置する豊田市稲武地区は山間地であり、深刻な少子高齢化への危機感から、域外からの人材を呼び込む地域活性化プロジェクト「OPEN INABU」を主宰。その中で、平日週3回は同社の事業所で働き、土日は同地区でマウンテンバイク等の山岳ツアーガイド業、残りの平日を休むといった就労スタイルを認める「INABU BASE PROJECT」を実施。安定した収入を得ながら、山間地域のスローライフを満喫できる生き方の実現のため、地域を巻き込んだ働き方改革を行った。
- 工場の2階に「トヨタケ道場」というミシンのトレーニングスペースを設置。新入社員に対して1か月程度、研修を行っているほか、ベテラン工の再教育を実施。道場のスペースは社内利用だけでなく、一般開放し、社外人材とのワークショップ等も行っている。
- 品質や生産性向上のための取り組みとして、週1回部署ごとに「QCサークル活動」を実施。また、日頃から取り組む改善活動の成果を発表する場として「QCサークル改善大会」を年2回開催、優良な取組を表彰している。

取組の効果

- 平日の工場勤務と土日のアウトドアガイドを組み合わせた就労スタイルを認めることで、若者や移住希望者等、域外からの人材獲得に繋がった。モチベーションの高い人材の確保ができ、本業を続けながら新規事業を立ち上げる経験が、やりがいと責任感に繋がり、社内で右腕人材として活躍している。
- 「トヨタケ道場」によりベテラン従業員からの技能伝承が進み、従業員のスキルアップに繋がっている。また、道場を一般開放し、ファクトリーツーリズムの一環として組み込むなど、会社や地域の魅力発信、共創の場としても活用されている。
- QCサークル活動に取り組むことで、数字で問題を把握し、真因を対策しPDCAを回す手法を身に着けることができ、日々の業務改善に繋がった。他部署の取組を知ること、従業員同士のコミュニケーションも促進された。